

平成31年度 亜細亜大学入学試験概要

	公募推薦入試	AO入試	ホスピタリティ推薦入試
募集人員	経営学部 経営学科 30名 (上記のうち商業系課程5名) 経済学部 経済学科 20名 法学部 法律学科 30名 国際関係学部 国際関係学科 10名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科 10名 都市創造学部 都市創造学科 30名	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 53名	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 5名
求める学生像	一定の学業成績を修め、校内におけるさまざまな活動(委員会活動・サークル活動)にも積極的に参加するなど、充実した高校生活を送ってきた者	1.ホスピタリティ・ビジネスに深い興味・関心を持つ者 2.将来ホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を持つ者 3.学修意欲、探究心、チャレンジ精神、自発性、協調性のある者 4.人に接することが好きである者 ※なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスとは、ホテルビジネス、プライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、パッセンジャーサービスビジネス、スポーツビジネスをいう	高校生活などにおいて、ホスピタリティ・ビジネスに対する関心、知識、経験および能力を涵養し、さらに将来はホスピタリティ業界で働く希望を持って、大学での勉学等に励む意欲のある者 ※なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスとは、ホテルビジネス、プライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、パッセンジャーサービスビジネス、スポーツビジネスをいう
出願資格	次の条件をすべて満たし、高等学校長が推薦する者 ①平成31年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業見込みの者 ②本学への入学を第1希望とする者 ③調査書の全体の評定平均値が3.2以上の者	次のいずれかの条件を満たす者 ①高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成31年3月修了見込みの者 ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ④文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者 ⑤文部科学大臣の指定した者 ⑥高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定合格者を含む)および平成31年3月31日までに合格見込みの者	次の条件をすべて満たす者 ①平成30年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者 または高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験(平成30年度)に合格した者および平成31年3月31日までに合格見込みの者 ②次のいずれかに該当する者 (イ)ホスピタリティ・ビジネスに関する優れた「課題研究」を行った者 (ロ)ホスピタリティ・ビジネスを経験した者
選抜方法	(1)基礎テスト[国語(古文・漢文を除く)、英語]2科目合わせて90分 (ただし、次の①から⑥のいずれかを取得している者は英語を免除し、国語(45分)のみとする) ①実用英語技能検定2級以上 ②TOEFL®…PBT 470点以上 iBT 52点以上 ③TOEIC® Listening & Reading Test…500点以上 ④TOEIC Bridge® Test…155点以上 ⑤GTEC(3技能)®…600点以上 ⑥GTEC CBT…880点以上 ※有効期限内のGTEC for STUDENTSのスコアを認める (2)書類審査 以上(1)(2)の総合評価により、合否を判定する	《1次審査》 (1)理解力テスト (新聞記事の内容理解、60分) (2)書類審査 以上(1)(2)の総合評価により、合否を判定する 《2次審査》 ◆1次審査合格者を対象として11月17日・18日両日審査する (1)面接 11月17日(土)集団討論 11月18日(日)集団面接	(1)作文(400字以内、30分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月9日(金) 提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年9月21日(金)～9月28日(金) 提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年10月16日(火)～10月24日(水) 提出書類の郵送は締切日消印有効
試験日・試験会場	平成30年11月25日(日) 本学	《1次審査》 平成30年10月14日(日) 《2次審査》(1次審査合格者を対象) 平成30年11月17日(土)・18日(日)両日 本学(1次審査・2次審査とも)	平成30年11月18日(日) 本学
合格発表	平成30年12月3日(月)	《1次審査》平成30年10月19日(金) 《2次審査》平成30年11月26日(月)	平成30年11月26日(月)
入学手続期間	◆第1次手続 平成30年12月3日(月)～12月14日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	◆第1次手続 平成30年11月26日(月)～12月7日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	◆第1次手続 平成30年11月26日(月)～12月7日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)

◆第1次手続では入学金の納入と入学手続書類の本学への送付、第2次手続では学校納入金(前期分もしくは年額のいずれか)を納入いただきます。

	スポーツ・ホスピタリティ推薦入試	グローバル人材育成入試	一芸一能推薦入試
募集人員	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 スポーツホスピタリティ・ビジネスコース 10名	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 3名 国際関係学部 国際関係学科 4名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科 4名 都市創造学部 都市創造学科 5名	経営学部 経営学科 5名 経済学部 経済学科 4名 法学部 法律学科 4名 都市創造学部 都市創造学科 8名
求める学生像	高校生活などにおいて、スポーツビジネスに対する関心、知識、経験および能力を涵養し、さらに将来はスポーツ業界で働く希望を持って、大学での勉学等に励む意欲のある者	国際社会への強い関心を持ち、将来、アジア太平洋地域を中心に、世界を舞台としてアクティブに活躍する「グローバル人材」となることを強く願っている者	一つの資格・技能の獲得または社会的活動に向けた明確な目的意識を持って高校生活を送ってきた、旺盛なチャレンジ精神を有する者
出願資格	次の条件をすべて満たす者 ①平成30年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者 または高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験(平成30年度)に合格した者および平成31年3月31日までに合格見込みの者 ②高等学校のスポーツ系課外クラブや民間のクラブチームなどにおいてマネージャーあるいはプレイヤーとしての活動を通算して1年以上行った者 ③上記②の課外クラブの顧問またはクラブチームの代表が推薦する者	次の条件をすべて満たす者 ①平成31年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業見込みの者 ②本学への入学を第1希望とする者 ③調査書の全体の評定平均値が3.2以上の者 ④次のいずれかに該当する者 (イ)調査書の英語の評定平均値が4.0以上の者 (ロ)次のaからeのいずれかを取得している者 a. 実用英語技能検定2級以上 b. TOEIC® Listening & Reading Test…500点以上 c. TOEFL®…iBT 52点以上 d. GTEC(3技能)®…600点以上 e. GTEC CBT…880点以上 ※有効期限内のGTEC for STUDENTSのスコアを認める 備考 (1)本入試で合格し入学した者は、原則各学部におかれている海外インターンシップ科目を履修し、海外インターンシップに参加しなければならない。 (2)海外インターンシップ参加時には参加費の実費(25万円～45万円程度を予定。渡航先により相違)の納入が必要となる。 (3)次の2条件を全て満たした者には「海外インターンシップ奨学金」(30万円を上限とする参加費補助)を給付する。 〈条件〉 ①各学部の海外インターンシップ科目を履修し、この科目の単位を修得すること。 ②入学後3年以内にTOEIC® Listening & Reading Test600点以上を取得すること(入学時に取得済みの者はこの条件を満たしたこととする)。	次の条件をすべて満たす者 ①平成30年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者 または高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験(平成30年度)に合格した者および平成31年3月31日までに合格見込みの者 ただし、下記②の(ホ)で出願する者は、外国において、学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者、および平成31年3月31日までに修了見込みの者も含む ②次のいずれかに該当する者 (イ)芸術・芸能 音楽(吹奏楽、合唱、器楽、管弦楽など)活動で実績のある者 放送・映像、美術工芸、写真、書道書写などで実績のある者 演劇、芸能、舞踊、ダンス、チアリーダーングなどで実績のある者 (ロ)競技 囲碁、将棋、カルト、計算技能(珠算など)などで実績のある者 (ハ)学術・学芸 科学・技術研究、観察調査報告、発明などで実績のある者 論文、作文、創作などで実績のある者 弁論、スピーチなどで実績のある者 (ニ)資格 実用英語技能検定、簿記検定、漢字能力検定(いずれも2級以上)等の有資格者 基本情報技術者試験、ITパスポート試験等の有資格者 (ホ)社会的活動 ボランティア活動、国際交流等(語学に堪能な者を含む)で評価を得ている者 (ヘ)スポーツ 各種スポーツ活動で実績のある者(スポーツ推薦入試に該当する種目を除く) (ト)自らの判断で(イ)～(ハ)に準ずると思われる者
選抜方法	(1)作文(400字以内、30分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する	(1)小論文(800字以内、60分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する	(1)小論文(800字以内、60分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する
出願期間	平成30年10月16日(火)～10月24日(水) 提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年9月21日(金)～9月28日(金) 提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年10月9日(火)～10月17日(水) 提出書類の郵送は締切日消印有効
試験日・試験会場	平成30年11月17日(土) 本学	平成30年10月14日(日) 本学	平成30年11月25日(日) 本学
合格発表	平成30年11月26日(月)	平成30年10月22日(月)	平成30年12月3日(月)
入学手続期間	◆第1次手続 平成30年11月26日(月)～12月7日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	◆第1次手続 平成30年10月22日(月)～11月6日(火) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	◆第1次手続 平成30年12月3日(月)～12月14日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)

◆第1次手続では入学金の納入と入学手続書類の本学への送付、第2次手続では学校納入金(前期分もしくは年額のいずれか)を納入いただきます。

※試験の詳細は、8月中旬よりマイページにて必ずご確認ください。

※試験の詳細は、8月中旬よりマイページにて必ずご確認ください。

	特別推薦入試	スポーツ推薦入試	社会人入試	帰国生入試
募集人員	経済学部 経済学科 4名 法学部 法律学科 4名 都市創造学部 都市創造学科 若干名	経営学部 経営学科 5名 経済学部 経済学科 5名 法学部 法律学科 7名 国際関係学部 国際関係学科 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科 若干名 都市創造学部 都市創造学科 若干名	経営学部 経営学科 若干名 経済学部 経済学科 若干名 法学部 法律学科 若干名 国際関係学部 国際関係学科 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科 若干名 都市創造学部 都市創造学科 若干名	経営学部 経営学科 若干名 経済学部 経済学科 若干名 法学部 法律学科 若干名 国際関係学部 国際関係学科 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科 若干名 都市創造学部 都市創造学科 若干名
学求める 生像		募集するスポーツの技能に優れた将来性のある者		
出願資格	次の条件をすべて満たす者 ①平成31年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業見込みの者 ②本学への入学を第1希望とする者 ③青々会(本学園同窓会組織)会員の子女、弟妹、孫および在学生の弟妹	次の条件をすべて満たす者 ①原則として、平成31年3月高等学校(中等教育学校を含む)を卒業見込みの者 ただし、高等学校に相当する課程を卒業見込みの者については、出願資格を審査のうえ受験を認めることがある ②本学への入学を第1希望とする者 ③調査書の全体の評定平均値が2.7以上の者 ④スポーツ団体の指導者の推薦が得られる者 ⑤下記種目において、高校総体、国体などの全国規模の大会に出場し活躍した選手および将来性のある優秀な選手で、入学後、当該スポーツ活動を継続する者 〈募集種目〉 硬式野球、サッカー、バレーボール、柔道 〔以上4種目は男子のみ〕 陸上競技(中長距離)、硬式テニス、剣道 〔以上3種目は男子、女子〕	次のいずれかの条件を満たす者 ①平成7年4月1日以前に生まれた者で、高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および卒業見込みの者、または高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定合格者を含む)および平成31年3月31日までに合格見込みの者 ②旧制諸学校の卒業生および中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者	次の条件をすべて満たす者 ①日本国籍を有し、原則として平成31(2019)年3月31日までに18歳に達する者 ②国の内外を問わず通常の学校教育課程12年を修了した者および修了見込みの者 ③次の(イ)または(ロ)のいずれかに該当する者 (イ)帰国後、日本の高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者および卒業見込みの者 海外において、日本の高等学校に相当する課程に連続して1.5学年以上在学し、帰国後、日本の高等学校の2学年または3学年に編入を認められた者で、平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者 (ロ)外国の高等学校を卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者 海外において、日本の高等学校に相当する課程に最終学年を含め、連続して1.5学年以上在学し、平成29(2017)年9月1日から平成31(2019)年3月31日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者 ただし、次の教育制度においては、原則として下記要件〔 〕内を満たすこと 1)アメリカ合衆国の教育制度[High School Diploma] 2)マレーシアの教育制度[Form 6(Lower6以上)] 3)イギリスの教育制度[General Certificate of Education(GCE) Aレベル2科目以上合格] 4)フランスの教育制度[Baccalauréat] 5)ドイツの教育制度[Abitur] 6)オーストラリアの教育制度[Higher School Certificate(HSC)等] 7)ニュージーランドの教育制度[NCEA Level 3] 8)韓国/カリアの教育制度[国語/カリア資格(B Diploma)] 9)その他の教育制度[その国の大学入学資格を有していること] (注1)外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなさない (注2)アメリカ教育制度の第9学年(Grade9)は、日本の高等学校に相当する課程とはみなさない Grade10・11・12を高等学校に相当する課程とする
選抜方法	(1)基礎テスト[国語(古文・漢文を除く)、英語]2科目合わせて90分 (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する	[第1次] 実技・面接(1期は7月下旬から10月下旬、Ⅱ期は11月下旬。ただし、Ⅱ期については、募集しない種目もある) [第2次](第1次合格者を対象) (1)小論文(600字以内、60分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する	(1)小論文(1,000字以内、90分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する	(1)小論文(1,000字以内、90分) 〔小論文の使用言語は日本語〕 (2)英語 (3)面接 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月9日(金) 提出書類の郵送は締切日消印有効	[Ⅰ期] 平成30年10月23日(火)～10月31日(水) [Ⅱ期] 平成31年1月5日(土)～1月11日(金) Ⅰ期・Ⅱ期とも提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年9月21日(金)～9月28日(金) 提出書類の郵送は締切日消印有効	平成30年10月9日(火)～10月17日(水) 提出書類の郵送は締切日消印有効
試験日・試験会場	平成30年11月25日(日) 本学	[Ⅰ期]平成30年11月25日(日) 本学 [Ⅱ期]平成31年2月5日(火) 本学	平成30年10月14日(日) 本学	平成30年11月25日(日) 本学
合格発表	平成30年12月3日(月)	[Ⅰ期]平成30年12月3日(月) [Ⅱ期]平成31年2月10日(日)	平成30年10月22日(月)	平成30年12月3日(月)
入学手続期間	◆第1次手続 平成30年12月3日(月)～12月14日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	[Ⅰ期] ◆第1次手続 平成30年12月3日(月)～12月14日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水) [Ⅱ期] ◆一括手続 平成31年2月10日(日)～2月18日(月)	◆第1次手続 平成30年10月22日(月)～11月6日(火) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)	◆第1次手続 平成30年12月3日(月)～12月14日(金) ◆第2次手続 平成31年1月4日(金)～1月23日(水)

◆第1次手続では入学金の納入と入学手続書類の本学への送付、第2次手続では学校納入金(前期分もしくは年額のいずれか)を納入いただきます。
◆一括手続は入学金を含む学校納付金(前期分もしくは年額)の納入と入学手続書類を本学へ送付いただきます。